

第113回経営協議会議事要旨

日時： 令和5年2月15日（水） 13:30～15:00
場所： 山口大学事務局1号館4階（オンライン会議システム Webex 併用）
出席者： 谷澤、松野、進士、上西、葛、溝部、七村、岡田、レール、杉野、鍋山、石井
岩崎、岩田、鎌田、川上、桜井、下村、原山、矢儀、山本
欠席者： 今村、齋藤、末永、平屋
モデレーター： 土谷、三石

議事に先立ち、学長から、「明日の山口大学ビジョン 2030」について、机上配布資料に基づき、作成にあたってのご協力への謝辞及び内容説明があった。

議題：

I. 議事要旨の確認

学長から第111回及び第112回経営協議会の議事要旨の確認があり、原案のとおり承認された。

II. 審議事項

1. 国立大学法人山口大学学則の一部改正について

松野理事から、国立大学法人山口大学学則の一部改正について、審議資料1に基づき説明があり、審議の結果、了承され、役員会に付議することとなった。

2. 国家公務員法の一部を改正する法律に基づく本学の定年延長等制度について

溝部理事から、国家公務員法の一部を改正する法律に基づく本学の定年延長等制度について、審議資料2に基づき説明があり、種々質疑応答が行われた後、審議の結果、了承され、2月20日に制度説明会を開催した後、2月末開催の役員会に付議することとなった。

3. 新型コロナウイルス感染症対応における一時金の支給について

溝部理事から、新型コロナウイルス感染症対応における一時金の支給について、審議資料3に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり了承され、役員会に付議することとなった。

4. 令和5年度予算編成方針（案）について

溝部理事から、令和5年度予算編成方針（案）について、審議資料4に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり了承され、役員会に付議することとなった。

（主な意見及び質疑応答は次のとおり ○は学外委員、◇は学内委員）

- 物価や光熱費高騰の影響があるが運営費交付金は増えない中、収入を増やす努力は行っているのか。
- ◇ 科研費、受託研究費等外部資金を獲得する努力は種々継続して行っている。また、光熱費等が高騰している状況の中で収入の大半を占める運営費交付金額が変わらない状態では、教育研究の質の確保に問題が生じる可能性があるため、国立大学協会総会では、文部科学省及び財務省に運営費交付金の増額を要望する必要があると協議された。他大学とも問題を共有及び協議しながら、一丸となって対策をしていきたい。

III. 報告事項

1. 令和5年度運営費交付金等予定額について

溝部理事から、令和5年度運営費交付金等予定額について、報告資料1に基づき説明があった。

（主な意見及び質疑応答は次のとおり ○は学外委員、◇は学内委員）

- 共通指標の評価結果を確認すると若手研究者比率に係る配分率が減少しているが、対策はしているか。
- ◇ 新しく教員を採用する際は「40歳以下」等の条件付けをして採用を行うなど、若手研究者獲得のための対策は継続的に行っている。

2. 令和5年度一般選抜志願状況について

葛副学長から、令和5年度一般選抜志願状況について、報告資料2に基づき報告があった。

3. その他

(1) 山口大学レポートについて

進士理事から、山口大学レポートについて、報告資料3（机上配布）に基づき説明があった。

(2) ダイバーシティニューズレターについて

鍋山副学長から、ダイバーシティニューズレターについて、報告資料4（机上配布）に基づき説明があった。

(3) 大学間連携による文系DX人材の育成について

学長及び松野理事から、大学間連携による文系DX人材の育成について、報告資料5-1及び5-2に基づき説明があった。

IV. その他

1. 山口大学の主な動きについて

伊東総務企画部総務課長から、山口大学の主な動きについて、その他資料1に基づき報告があった。

< 参考資料 >

明日の山口大学ビジョン 2030

第111回経営協議会議事要旨（案）

第112回経営協議会議事要旨（案）

< 審議資料 >

- 1 国立大学法人山口大学学則の一部改正について
- 2 国家公務員法の一部を改正する法律に基づく本学の定年延長等制度について
- 3 新型コロナウイルス感染症対応における一時金の支給について
- 4 令和5年度予算編成方針（案）について

< 報告資料 >

- 1 令和5年度運営費交付金等予定額について
- 2 令和5年度一般選抜志願状況について
- 3 （机上配布）山口大学レポート
- 4 （机上配布）ダイバーシティニューズレター
- 5-1 （1）地域活性化人材育成事業（SPARC）について
- 5-2 （2）地域活性化人材育成事業（SPARC）について

< その他資料 >

- 1 山口大学の主な動き—令和4年12月～令和5年2月—